



ごみ出しのルールを守りましょう

環境生活課 232-2114

町や地域のルールを再確認し、正しくごみを出しましょう。家庭で不要になった家電4品目とパソコンは、法律でリサイクルすることが義務付けられています。

ごみ出しのマナーを守りましょう



- ① 午前8時30分までに出しましょう
- ② 決められたごみステーションに出しましょう

ごみステーションの管理は、ごみステーションを使う地区の住民が行っています。地区外の人が分別されていらないごみを捨てると管理を行っている地区の住民が分別をしなければならず、非常に困ってしまいます。

また、ごみを個人の敷地や道路沿いなどに捨てることは不法投棄になり、罰則の対象です。

- ③ 分別をきちんとしましょう
- ごみの分別は「ごみの分け方・出し方」の冊子(町関係施設に置いてあります)をご覧ください。町ホームページにも掲載しています。

家電4品目の処分方法

家電4品目とは、テレビ、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫をいいます。

処分方法1

小売店には家電リサイクル法対象機器を引き取る義務があります。製品を購入した小売店が同じ種類の製品を購入予定の小売店に連絡してください。処分するためには、収集・運搬するための料金と家電リサイクル券(郵便局で購入できます)が必要です。

処分方法2

小売店へ連絡できない場合や引き取り義務のない対象機器は、環境美化センターに直接搬入するか町に回収を依頼してください。処分するためには、収集・運搬するための料金(町回収の場合:粗大ごみシール)と家電リサイクル券が必要です。※町に回収を依頼する場合は、粗大ごみの収集日に回収します。必ず電話で予約をお願いします。

パソコンの処分方法

- ① パソコンのメーカーに直接、回収の申し込みをしてください。

メーカーの連絡先など詳しくは、最寄りの郵便局か「パソコン3R推進協会」(☎03(5282)7685、パソコン3R推進協会ホームページ)にお問い合わせください。

- ② エコゆうパック伝票が郵送されます。

平成15年9月以前に販売されたパソコンの場合
メーカーからリサイクル料金の振り込み用紙が送付されます。費用を支払うと、「エコゆうパック伝票」が送付されます。

- ③ パソコンを簡易梱包し、伝票を貼り付けます。

最寄りの郵便局に持ち込むか郵便局に戸口集荷を依頼します。

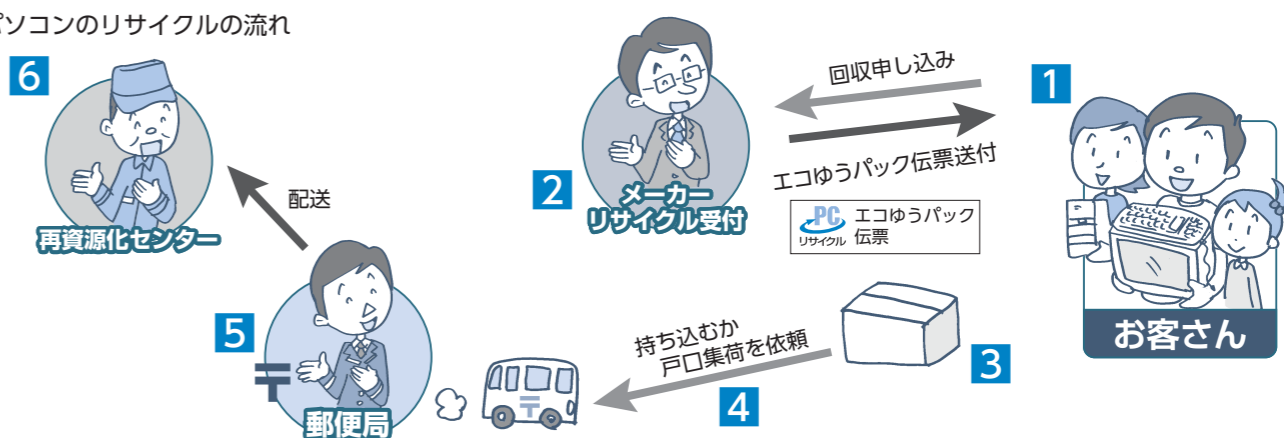


- ④ 集めた廃棄パソコンは再資源化センターに配送されます。

- ⑤ 再資源化されます。

※詳しくは、ごみ収集カレンダーか町ホームページをご覧ください。

パソコンのリサイクルの流れ



▲多くの意見が出た住民懇談会

第5期総合計画の後期基本計画策定に向けて

「町総合計画に関する住民懇談会」を7月17日～8月11日に南部町民センターなど6カ所で開催しました。これは第5期町総合計画後期基本計画を策定するにあたり、町民の皆さんからたくさんご意見や要望などを聴くために開催したものです。延べ261人が出席しました。



「町総合計画に関する住民懇談会」を開催しました

総合政策課 232-2112

第5期総合計画の後期基本計画(平成28年度～平成32年度の策定)に向け、校区ごとに住民懇談会を開催しました。

校区別計画を策定します

総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3部構成です。今回策定する第5期総合計画の後期基本計画では「校区別計画」も策定します。校区別に課題・施策の方向性などを計画に盛り込みます。

意見・要望を聴かせてください

住民懇談会に参加できなかった町民の皆さんから多くの意見や要望を聴くため、「広報きくよう」9月号に「ご意見用紙」と「返信用封筒」を挟み込んでいます。広く町民の皆さんの意見、要望を記入してください。

提出方法

意見や要望を記入した「ご意見用紙」を「返信用封筒」に入れて、そのまま郵送してください。

提出期間

9月1日(月)～12月26日(金)
※第5期総合計画前期基本計画を町ホームページに掲載しています。

こやま 小山株式会社 菊陽町原水工業団地に新工場を建設 町は同社と「工場立地に関する協定」を締結しました

小山株式会社と町は8月6日、大塚議長立ち会いの下、「工場立地に関する協定」を締結しました。同社は布団などを製造する工場を原水工業団地に建設し、平成27年夏の操業開始を目指します。

寝具リース業界の先駆け企業が町に新工場を建設

小山株式会社は1893年(明治26年)の創業で、今年121年目を迎えた歴史ある老舗企業。布団などの寝具リース業界の先駆けであり、現在でも業界をリードしている企業です。

同社は原水工業団地に工場用地約4,700平方メートルを取得。約9億円を投じ、布団などを製造する工場を建設するもので、地元から積極的に雇用する計画です。新工場は一部2階建てで、延べ床面積は約3,350平方メートルです。11月に着工し、平成27年夏の操業開始を目指しています。

町の新工場を起点に九州全域をカバーする

同社の池原靖忠常務取締役は協定後、「菊陽町の新工場を拠点に九州全域をカバーしたい。また、地域社会に貢献していきたい」と抱負を述べました。

後藤町長は「創業120年以上の歴史を持つ老舗企業の立地は大変喜ばしく、町の誇り。災害が発生した場合な

どは協力をお願いしたい」と喜びを語りました。

大塚議長は「御社の立地が地域経済の起爆剤になると期待している。さらなる飛躍と繁栄を願う」と期待を込めました。



▲(左から)池原靖忠常務、大塚議長、後藤町長

問い合わせ

商工振興課 商工振興係 ☎(232)2165